



宮崎法子教授

宮崎法子先生 履歴

学歴 一九七一年三月 千葉県立千葉高校卒業

一九七六年三月 東京大学文学部美術史学科卒業

一九七九年三月 東京大学大学院人文科学研究科美術史学専攻修士課程修了（文学修士）

一九七九年四月 同大学院人文科学研究科美術史学専攻博士課程進学

一九八〇年三月 同大学院人文科学研究科美術史学専攻博士課程単位取得中退

学位 一九七九年三月 修士（文学、東京大学）

二〇二一年十月 博士（文学、東京大学）

職歴 一九八〇年四月 京都大学人文科学研究所東方部助手（一九八七年三月）

（一九八三年～八四年）北京・中央美术学院 高級進修生

一九八七年四月 三重大学文学部助教（一九九五年三月）

（一九九〇年～九一年）アメリカ合衆国ハーバード大学イエンチン研究所招聘訪問学者

一九九五年四月 実践女子大学 文学部美学美術史学科 教授 現在に至る

（二〇〇三年～二〇〇四年）チエルシー・カレッジ及び台北国立故宫博物院訪問研究者

受賞 一九七九年 北川桃雄賞

一九九七年 國華賞

二〇〇三年 サントリー学芸賞

非常勤講師として出講した主な大学

京都女子大学、神戸大学、名古屋大学、学習院大学、慶応義塾大学、東北大学、大阪大学

学会および社会における活動（現は現職を示す）

美術史学会会員（現） 美術史学会誌査読委員

日本學術振興会 出版助成、科学研究費、特別研究員等審査委員

台北・国立故宫博物院『故宫學術季刊』査読委員

文化庁文化審議会文化財分科会第一専門調査会委員

文化庁文化審議会委員（現）

文化庁文化審議会美術品補償制度部会委員（現） 同博物館部会委員

文化庁三ノ丸尚蔵館の開設準備有職者会議委員

宮崎法子先生 業績一覽

著書・監修・分担執筆

○単著

- ・『花鳥・山水画を読み解く―中国絵画の意味』(角川書店・角川学芸叢書、二〇〇三年) サントリー学芸賞受賞
- ・『花鳥・山水を読み解く―中国絵画の意味』(筑摩書房・筑摩学芸文庫、二〇一八年)
- ・『中国絵画的深意』(傅彦瑤訳、上海・浦睿文化、二〇一九年初版・二〇二〇年再版)(筑摩学芸文庫の中文翻訳簡体字版)
- ・『中国絵画の内と外』(中央公論美術出版、二〇二〇年) 学位論文

○監修・共編著

- ・『世界美術大全集 東洋編 第8巻 明』(西岡康宏・宮崎法子責任編集、小学館、一九九九年)
分担執筆「明代の絵画」、作品解説55点、
- ・『故宮博物院 清の絵画』(小川裕充監修、宮崎法子構成・執筆、NHK出版、一九九九年) 分担執筆「正統と個性のゆくえ」、作品解説45点
- ・『復刻版・吉祥図案解題―支那風俗の一研究』(宮崎法子監修、ゆまに書房、二〇〇九年) 監修・解題執筆『『吉祥図案解題』と野崎誠近』
- ・『台北国立故宮博物院と中国美術の至宝』(宮崎法子監修、洋泉社(洋泉社hook)、二〇一四年)
分担執筆「中国美術の至宝 絵画」「書跡・絵画をより深く楽しむⅠ 書画作品の形と素材」「書跡・絵画をより深く楽しむⅡ 落款・印章、題跋・鑑蔵印とは」「書跡・絵画をより深く楽しむⅢ 作品名の付け方の基本(中村信宏と共同)」、作品解説7点、
- ・『アシア仏教美術論集 東アジア5 元・明・清』(宮崎法子・森雅秀責任編集、中央公論美術出版、二〇二二年)
分担執筆「総論元・明・清の仏教美術」、他翻訳3点(翻訳の項参照)

○分担執筆

- ・『日本絵画百選』（山根有三編、日本経済新聞社、一九七九年）
 - 分担執筆「聖徳太子・天台高僧像『龍樹菩薩像』」
- ・『中國繪畫史論集・鈴木敬先生還暦記念』（鈴木敬先生還暦記念會編、吉川弘文館、一九八一年）
 - 分担執筆「伝斎然将来十六羅漢図考」
- ・『花鳥画の世界 第10巻 中国の花鳥画と日本』（戸田禎佑・小川裕充編、学習研究社、一九八三年）
 - 作品解説24点
- ・『中国近世の都市と文化』（梅原郁編、京都大学人文科学研究所、一九八四年）
 - 分担執筆「西湖をめぐる絵画・南宋絵画史初探」
- ・『縁起絵と似絵』（日本美術全集 第9巻）講談社 一九九三年
 - 分担執筆「東アジア美術のなかの鎌倉絵画―同時代中国の仏教絵画制作」
- ・『シルクロード学研究3―仏伝美術の伝播と変容・シルクロードに沿って』（シルクロード学研究センター、一九九七年）
 - 分担執筆「第5章 中国の仏伝美術2（唐く明まで）」
- ・『非対称の視線―美術とジェンダー（1）』（鈴木杜幾子・千野香織・馬渕明子編著、ブリュッケ、一九九七年）
 - 分担執筆「女性の消えた世界―中国山水画の内と外」
- ・『語る現在、語られる過去―日本美術史学』80年（東京国立文化財研究所編、平凡社、一九九九年）
 - 分担執筆「日本近代のなかの中国絵画史研究」
- ・『世界美術大全集 東洋編 第7巻 元』（海老根聰郎・西岡康宏責任編集、小学館、一九九九年）
 - 分担執筆「元代の花鳥画と墨竹画」〔山西省の寺観壁画―北宋から元まで〕、作品解説19点
- ・『世界美術大全集 東洋編 第6巻 南宋・金』（嶋田英誠・中澤富士雄責任編集、小学館、二〇〇〇年）
 - 分担執筆「南宋時代の実景山水図」、作品解説2点
- ・『交差する視線―美術とジェンダー（2）』（鈴木杜幾子・馬渕明子・池田忍・金恵信編、ブリュッケ、二〇〇五年）
 - 分担執筆「中国における女性表現―宮中図を中心に」
- ・『揺らぎの中の日本文化―原像・怪異・日本美術』（新納泉・山口和子・鐸木道剛編著、岡山大学出版会、二〇〇九年）
 - 分担執筆「伝統中国からみた日本美術―非対称の視線」
- ・『仕女図から唐美人図へ』（仲町啓子編、実践女子学園学術・教育研究叢書17、実践女子学園、二〇〇九年）

- 分担執筆「中国における女性描写の展開」、「『韓熙載夜宴図』と明代江南人物画」
- ・『決定版清明上河図』（東京国立博物館・北京故宫博物院特別協力、国書刊行会、二〇一九年）
- 分担執筆「清明上河図」の過去と現在―今後の研究に向けて、「清明上河図巻」全跋文（14件）の翻訳と訳注
- ・『東アジア文化講座 第4巻 東アジアの自然観』（ハルオ・シラネ編、アジア文学通信、二〇二一年）
- 分担執筆「三友と四君子」
- ・『物見・四十八位物件の閲讀者、與他們的所見の世界』（頼毓芝監修、遠足文化事業股份有限公司、二〇二二年）
- 分担執筆「讀新出現的『花鳥圖』」

○展覧会図録

- ・『中国絵画・書』（泉屋博古館、一九八一年）
- 編集協力、作品解説16点
- ・『泉屋博古 中国絵画』（泉屋博古館、一九九七年）
- 編集協力、作品解説17点
- ・『仏教の美術』（静嘉堂文庫美術館 展覧会図録、一九九九年）
- 分担執筆「静嘉堂文庫美術館蔵『十王図・二使者図』について」
- ・『道教の美術』（大阪市立美術館 展覧会図録、二〇〇九年）
- 分担執筆「中国絵画と道教」、作品解説6点
- ・『桃源万歳！―東アジア理想郷の系譜』（岡崎市立美術館 展覧会図録、二〇二一年）
- 分担執筆「桃源郷と中国絵画」
- ・『大本山相国寺・金閣・銀閣名宝展』（富山県水墨画美術館、二〇二二年）
- 分担執筆「水墨画の系譜」「文人画と禅画」、作品解説7点
- ・『絵になる自然―生きとし生けるものへの賛歌』（秋田市立千秋美術館、二〇二一年）
- 分担執筆「自然を絵にする伝統―秋田市立千秋美術館『絵になる自然展』に寄せて」

論文

- ・「石涛と黄山図巻」（『泉屋博古館紀要』2号、一九八五年）

- ・「宋代仏画史に於ける清涼寺十六羅漢像の位置」(『東方學報』58号、一九八六年)
- ・「花鳥画の誕生」(『is』39号、一九八八年)
- ・「中国絵画における裝飾性・宋代花鳥画その意味を中心に」(『国際交流美術史研究会第11回シンポジウム…東洋美術における裝飾性』報告書、一九九三年)
- ・「日本の中国絵画史研究の現状」(『ふびと』47号、一九九五年)
- ・「中国花鳥画の意味―藻魚図・蓮池水禽図・草虫図の寓意と受容について」(上)(下)(『美術研究』三六三、三六四号、一九九六年)
- ・「鬱屈を払う造形…八大山人安晩帖」(『書画船』3号、一九九七年)
- ・「『南画』の向こう側」(『江戸文学』18号特集 文人画と漢詩文2、一九九七年)
- ・「元『花鳥圖』(オーストラリア国立ヴィクトリア美術館藏)について」(『國華』一二五九号、二〇〇一年)
- ・「上海博物館藏『西湖図』巻と北京故宮博物院藏『西湖草堂図』巻について」(『実践女子大学美術史學』16号、二〇〇一年)
- ・「八大山人の花鳥主題と景德鎮青花磁器の文様」(『泉屋博古館紀要』21号、二〇〇五年)
- ・「美術館とコレクションの現在」(『Museumology』24号、二〇〇五年)
- ・「崔白筆 雙喜圖」(『國華』一三二九号(特輯 五代・北宋の繪畫)、二〇〇六年)
- ・「日本所藏有関夏珪資料(中文)」(『故宮博物院刊』一二八期、二〇〇六年)
- ・「松竹梅の美術」(『Aube 比較芸術学』1号、二〇〇六年)
- ・「徐渭の作画の背景―日本伝来の浙江地方の墨戲との関連を中心に」(『泉屋博古館紀要』24号、二〇〇八年)
- ・「中国山水画の内と外」(『実践女子大学美術史學』22号、二〇〇八年)
- ・「중국 산수화의 안과 밖(同右韓国語訳)」(『美術史論壇』25号、二〇〇七年)
- ・「評価の変転と研究―董其昌への視線を例に(中国学のヒント 中国美術)」(『東方』三三二九号、二〇〇八年)
- ・「花鳥画、その起源と展開をたどる」(『月刊美術』34号、特集「花鳥」は死んだか? ――伝統を超えて輝く現代の息吹、二〇〇八年)
- ・「狩野派模本から見た中国の仕女図」(『泉屋博古館紀要』25号、二〇〇九年)
- ・「中国美術の近代」(『美術フォーラム21』21号、特集「アジア美術的〈近代〉」、二〇一〇年)
- ・「中国絵画と道教―宋時代を中心として」(『アジア遊学』一三三三号、道教美術の可能性、二〇一〇年)
- ・「瀟湘臥遊図巻與趙孟頫的繪畫芸術(中文)」(『上海文博』34号、二〇一〇年)
- ・“The Current State of Japanese Research on Chinese Art Related Issues : With a Focus on the History of Ming-Ch'ing Painting”;

第九回國華賞受賞

(ACTA ASIATICA: Bulletin of the Institute of Eastern Culture 100, 2011) (東洋文庫による日本語原稿からの英訳)

- ・新収の二作品に見る河辺青蘭の画業」(『実践女子学園香雪記念資料館館報』8号 研究報告1、二〇一一年)
- ・「実践女子大学図書館蔵「探幽縮図」」(『実践女子大学美術史學』25号、二〇一一年)
- ・「別号図から大名庭園へ―16〜17世紀東アジアにおける文人文化の伝播と変容―」(『三菱財団研究・事業成果報告書』、二〇一二年)
- ・「日本近代における文人文化熱とその消長―財閥の美術蒐集を軸に」(『国際シンポジウム報告書 関西中国書画コレクションの過去と未来』、二〇一二年)
- ・「八大人山の甲戌(一六九四)年」(『泉屋博古館紀要』28号、二〇一二年)
- ・「河邊青蘭筆 青緑松蔭樓觀圖」(『國華』1117号、特輯 女性畫家、二〇一二年)
- ・「南宋宮廷絵画における文人意識―画院画家の二つの画風について―付、南宋宮廷繪畫之中文人意識(中文)」(『実践女子大学美術史學』26号、二〇一二年)
- ・「呂曉著《髡殘絵画研究》による《報恩寺図》に関する新知見」(『実践女子大学美術史學』27号、二〇一三年)
- ・「『雲溪仙館図』『仙山樓閣図』から見る仇英の山水画風の展開」(『美学美術史學』28号、二〇一四年、須貝美沙貴と共著)
- ・「『瀟湘臥遊図巻』から趙孟頫へ」(『実践女子大学美術史學』28号、二〇一四年)
- ・「『安晩』八大人山の甲戌年(汪瑩記)」(『紫禁城』1134期、二〇一四年)
- ・「桑名鉄城の訪中と『安晩帖』の伝来について」(『実践女子大学美術史學』29号、二〇一五年)
- ・「呉派初期の別業図・沈周『東莊図』冊を中心に」(『実践女子大学美術史學』30号、二〇一六年)
- ・「明代蘇州の園林文化とその伝播―呉派別業図から見た大名庭園」(『蘇州をめぐる諸問題―中国と日本の視点から 国際シンポジウム報告書』、二〇一六年)
- ・「從伝至日本の作品看明代的『偽好物』(李文玉訳)」(『故宮文物月刊』二〇一八年九月号)
- ・「桃源郷と中国絵画」(『小原流挿花』、二〇一七年)
- ・「中国の装飾と文様」(『美術フォーラム21』40号、二〇一九年)
- ・「董其昌山水画における実景―婉嬾草堂図を中心に」(『実践女子大学美術史學』33号、二〇一九年)
- ・「落花遊魚図―劉宗から惲寿平へ、そして椿椿山へ」(『実践女子大学美術史學』36号、二〇二二年)
- ・「研究回顧―中国美術史研究私史」(『実践女子大学美術史學』37号、二〇二三年)
- ・「橋本青江の画業について」(『実践女子大学香雪記念資料館館報』20号 二〇二三年)

- ・張子寧「石涛の『白描十六尊者』巻と『黄山図』冊」(上)・(下)、『國華』一一八四号、一一八五号、一九九四年)
- ・蔡昀「花鳥は語る」(『展覽會図録』『花鳥は語る』名古屋ポストン美術館、二〇〇五年)
- ・孟嗣徽「流出した晋南壁画に関する研究とその問題点」(宮崎法子・森雅秀責任編集『アジア仏教美術論集 東アジア5 元・明・清』中央公論美術出版、二〇二二年)
- ・傅立萃「偶来還自去、回首碧雲間―明代中期の文徵明を中心とした文人の寺遊と訪僧―」(同右)
- ・呂曉・景傑「石溪と大報恩寺―《報恩寺図》の真偽に関する補考を兼ねて―」(同右)
- 学会・シンポジウム口頭発表(講演等を除く)
 - ・「西湖をめぐる絵画―南宋絵画史初探」(日本美術史学会西支部例会、於京大会館、一九八三年)
 - ・「中国絵画における装飾性…宋代花鳥画その意味を中心に」(国際交流美術史研究会第11回シンポジウム「東洋美術における装飾性」、一九九三年)
 - ・「美術における世俗化」パネリスト(第46回日本美術史学会全国大会シンポジウム、於関西大学、一九九四年)
 - ・「文人趣味 その展開と大衆化」(江戸のシノワズリー研究会、於静嘉堂文庫美術館、一九九七年)
 - ・「日本近代の中国画研究」(東京国立文化財研究所シンポジウム「日本の美術史を振り返る」、一九九九年)
 - ・「中国における文人的価値の造形化」(美術史学会東支部シンポジウム「近世東アジアの社会・イメージ・交流…『文人』的価値観の展開と変容」、於実践女子大学、二〇〇一年)
 - ・「夏圭 溪山清遠図巻与日本伝来二幅的復原巻之関係(中文)」(宮廷絵画国際研討会、於北京・故宫博物院、二〇〇三年)
 - ・「画中女性像之演變與女性画家之出現(中文)」(女性與絵画国際研討会、於台北・国立故宫博物院、二〇〇三年)
 - ・「中国における画譜と版画の関係についての一考察」(実践女子大学文芸資料研究所主催 絵入り本シンポジウム、於仙台市博物館、二〇〇四年)
 - ・「関于葉茂台7号墓出土(山奔侯約図)的的主题之一考察(中文)」(遼寧省博物館藏書画国際研討会、於遼寧省博物館、二〇〇四年)
 - ・「中国山水画の住人たち―『隱逸』と『自由』の形」(第十九回SGRAフォーラム「東アジア文化再考…自由と市民社会をキーワードに」、於東京国際フォーラム、二〇〇五年)
 - ・「花卉」和「雑画」―陳淳和徐渭的花鳥画与其背景(中文)―(青藤白陽書画学術研討会「乾坤清氣―青藤白陽書画学術研討会」、於澳門芸術博物館、二〇〇六年)

- ・「夏珪溪山清遠図卷與日本伝来山水図・江城図的關係（中文）」（於台北・国立故宫博物院，二〇〇六年）
- ・「中国山水画の内と外」（第59回美術史学会全国大会・招待発表、於名古屋大学，二〇〇六年）
- ・「松竹梅の美術」（シンポジウム「松竹梅のメッセージ——藝術と生活と山川草木」、於京都造形大学比較芸術センター，二〇〇五年）
- ・「八大山人の花鳥表現——以与景德鎮青花瓷器紋様之関連為中心——」（中文）（「八大山人人生誕三百八十周年記念国際研討会」、於南昌，二〇〇六年）
- ・「南宋宮廷絵画之中的文人意識（中文）」（台北・国立故宫博物院學術研討会「文芸紹興——南宋芸術与文化」、於台北・国立故宫博物院，二〇一〇年）
- ・「宋模本白描『宮中図卷』与杜堇筆『仕女図卷』（中文）」（「米国所藏画展記念国際研討会」、於上海博物館，二〇一二年）
- ・「沈周『東莊図冊』与日本江戸時代の庭園文化（中文）」（「石田豊穰——呉門画派之沈周暨国際研討会」、於蘇州博物館，二〇一二年）
- ・「宋代的日中美術交流——以伝到日本の宋代仏教画為中心（中文）」（「唐宋元絵画珍品展記念国際研討会」、二〇一二年）
- ・「別号図から大名庭園へ」（『蘇州の見る夢』開催記念国際シンポジウム「蘇州をめぐる諸問題——中国と日本の観点から」、於大和文華館，二〇一五年）
- ・「北宋末期的青緑山水（中文）」（「青緑山水国際研討会」、於北京・故宫博物院，二〇一七年）
- ・「從『婉孌草堂図』看董其昌的『以造物為師』（中文）」（董其昌国際學術研討会、於上海博物館，二〇一九年）（論文集印刷中、楊暘訳完全原稿提出済）
- ・「上海博物館藏『西湖図』与北京故宫博物院藏『西湖草堂図』（リモート発表翻訳者付）」（「上海万年長春書画国際研討会」、於上海博物館，二〇二二年）（論文集印刷中、楊暘訳完全原稿提出済）

